

令和6年度 第2回七尾市健康福祉審議会保健医療分科会

次 第

日 時 令和7年1月28日（火）
午後2時00分～
場 所 パトリア 会議室4

1. 開 会

2. 説明・報告事項

(1) 令和6年度の主な取り組みについて

3. その他

(1) 震災後の保健活動について

4. 閉 会

目 次

・七尾市健康福祉審議会保健医療分科会委員名簿・・・・・・・・・・ P 1

説明・報告事項

(1) 令和6年度の主な取り組みについて・・・・・・・・・・ P 2

その他

(1) 震災後の保健活動について・・・・・・・・・・ P 20

付属資料

・七尾市健康福祉審議会保健医療分科会事務局名簿・・・・・・・・・・ P 21

七尾市健康福祉審議会 保健医療分科会委員

◎会長 ○副会長

氏名:五十音順

No.	氏 名	委員の所属	摘 要
1	いその 磯野 むつみ 睦美	七尾市健康まちづくり推進連絡会	審議会委員
2	おかはら 岡原 ひでかつ 秀克	七尾市町会連合会	
3	◎ きたむら 北村 まさる 勝	(一社)七尾市医師会	審議会委員
4	○ しまだ 島田 のりつぐ 典嗣	石川県歯科医師会七尾歯科医師会	審議会委員
5	たけもと 竹本 ひとし 等	(公社)石川県薬剤師会七尾鹿島支部	
6	たなか 田中 ひろえ 弘恵	七尾市保育士会	
7	たなか 田中 みちこ 美智子	七尾商工会議所	
8	たねたに 種谷 たもん 多聞	七尾市立小中学校校長会	
9	ひらた 平田 なおみ 直美	石川県能登中部保健福祉センター	
10	ほそき 細木 たつこ 多津子	七尾市食生活改善推進協議会	
11	ほりた 堀田 まい 麻衣	七尾市学校教育研究会養護教員研究会	
12	まつもと 松本 なおよ 直代	市民代表	
13	まるやま 丸山 えいほう 英邦	市民代表	

※七尾市健康福祉審議会規則第7条により設置(運用は要綱による)

※任期:令和6年4月1日～令和9年3月31日

2. 説明・報告事項

(1) 令和6年度の主な取り組みについて

I 社会生活を営むために必要な心身の機能の維持・向上

①次世代の健康づくり

■今年度の取り組み

○妊娠期から一貫した健康な生活習慣の確立のための取り組みの推進

【妊娠期】

- ・妊娠届出の面接時から、妊婦や家族状況を把握し、個々に応じた相談を行った。健診結果により、医療機関との連携を図り、糖尿病をはじめとする生活習慣病予防に向け、継続した保健指導を実施した。

【乳幼児期】

- ・発達の節目となる月齢の乳幼児健診や相談を実施し、現在の月齢に応じた情報だけでなく、今後の成長過程の見通しがもてるような運動発達や離乳食等の情報を事前に提供することにより、乳幼児の健康の保持に向けた支援を行った。
- ・1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査では、管理栄養士による朝食の大切さや肥満傾向の児に対して、個々に応じた食事の取り方について、個別の指導を実施した。その後は2歳児歯科健康診査や電話にて引き続き食事指導を実施した。

【妊娠期から乳幼児期】

- ・妊娠週数や子の月齢に応じた母子保健情報を発信する母子健康手帳アプリ「なな お子育てアプリ by 母子モ」の運用を10月から開始した。

■実績

【妊娠期】

事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度 (12月末現在)
妊娠届	届出数	230件	175件	132件
パパママ教室	対象者	216組	163組	112組
	参加者	57組	44組	26組
	参加率	26.4%	27.0%	23.2%
妊婦に対する 精密健康診査 (糖尿病疑い)	対象者	65名	42名	20名
	受診者	63名	40名	19名
	受診率	96.9%	95.2%	95.0%
	保健指導率	100%	95.0%	63.2%
		(指導者数63人/ 受診者数63人)	(指導者数38人/ 受診者数40人)	(指導者数12人/ 受診者数19人)

～パパママ教室参加者の反応～

教室で妊娠中に高血糖になりやすい要因や妊婦の一日の食事量について説明。「お菓子の摂り過ぎなので注意したい。食べ過ぎている物や不足している物が分かった。野菜がまだまだ足りないので頑張って食べようと思った。」などの意見があった。

【乳幼児期】

事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度 (12月末現在)
こんにちは赤ちゃん訪問 (乳児家庭全戸訪問)	対象者	187人	215人	123人
	実施数	184人	214人	122人
	実施率	98.4%	99.5%	99.2%
3～4か月児健康診査	対象者	186人	228人	118人
	受診者	184人	228人	118人
	受診率	98.9%	100%	100%
のびのび教室 (7か月児相談)	対象者	210人	217人	110人
	参加者	127人	93人	62人
	参加率	60.5%	42.9%	56.4%
もぐもぐ教室 (10か月児相談)	対象者	219人	202人	142人
	参加者	102人	73人	71人
	参加率	46.6%	36.1%	50.0%
すくすく相談 (育児相談)	実人数	78人	75人	48人
	延人数	176人	144人	77人
1歳6か月児健康診査	対象者	221人	220人	134人
	参加者	220人	218人	129人
	参加率	99.5%	99.1%	96.3%
3歳児健康診査	対象者	266人	230人	151人
	参加者	260人	223人	149人
	参加率	97.7%	97.0%	98.7%

～のびのび・もぐもぐ教室参加者の反応～

「こどもの舌の動きに合わせた離乳食の大きさや柔らかさが分かった。」「生活リズムとホルモンの関係を知って、生活リズムを大切にしようと思った。」といった意見があった。

【妊娠期から乳幼児期】 ななお子育てアプリ登録状況

	令和6年度 (12月末現在)
対象者	347人
登録者	119人
割合	34.3%

■課題及び次年度の方向性

- ・妊娠期の高血糖、高血圧等の生活習慣病予防にむけた保健指導を引き続き継続する。
- ・乳幼児期では、現在の月齢に応じた情報だけでなく、今後の成長過程の見通しがもてるような離乳食や運動発達等の情報を事前に提供することにより、乳幼児の健康の保持に向けた支援を引き続き継続する。

【こども家庭センター】

■今年度の取り組み

- 令和6年4月1日より、母子保健機能を担う「子育て世代包括支援センター」と児童福祉機能を担う「こども家庭総合支援拠点」の機能を引き継いで、子育て支援課内に「こども家庭センター」を設置し、母子保健・児童福祉の両機能が連携して相談対応にあたった。
- 健康推進課では、母子保健機能として特に妊娠期から幼児期を重点に、伴走型相談支援による、妊娠・出産・子育てに関する相談を行い、関係機関と連携して、安心して出産・子育てができるよう支援した。

※伴走型相談支援とは、妊娠届出時からすべての妊婦・子育て家庭に寄り添い、面談等で相談に応じ、各家庭のニーズに沿った支援につなぐ相談体制のこと。

■運営実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (12月末現在)
妊婦の実情把握（実人数）	230人	175人	132人
要支援者の支援プラン作成（※1） （実人数）	49人	35人	29人
要支援者のサポートプラン作成（※2） （実人数）	—	—	8人
医療機関との連携（延人数）	39人	41人	29人

※1 若年や多胎妊産婦等、妊娠中のリスクが高い方（特定妊婦）、または母親の育児不安、養育環境等に何らかの問題を抱え、継続的に支援が必要な方に対する支援計画。

※2 対象者の視点で作成したプランを対象者と共有し、手交する支援計画。

■課題及び次年度の方向性

対象者が今後の見通しを持って、必要な支援を選択できるよう、対象者主体のサポートプランの作成を行い、妊娠、出産、子育て期を通じて状況の変化に応じてプランの見直しを実施していく。

また、必要に応じて、保健・医療・福祉・教育などの地域の関係機関と連携を取り、継続して支援していく。

■目標項目（評価）

目標項目（評価）		初期値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
低出生体重児の割合の減少 （低出生体重児の割合）		11.2% （平成30年）	11.3% （令和2年度）	6.9% （令和3年度）	3.8% （令和4年度）	減少傾向
3歳児の肥満割合の減少 （3歳児の肥満割合）		3.5% （平成30年度）	4.9% （令和2年度）	3.2% （令和3年度）	4.6% （令和4年度）	減少傾向
肥満傾向にある子どもの割合の減少 （小学生5年生の軽度・中等度・高度肥満傾向児の割合）		男子 9.06% （令和元年度）	16.75% （令和3年度）	10.56% （令和4年度）	18.99% （令和5年度）	減少傾向
		女子 10.68% （令和元年度）	11.89% （令和3年度）	10.30% （令和4年度）	12.82% （令和5年度）	
毎日、朝食をとる者の割合の増加	3歳児	99.4% （平成30年度）	99.6% （令和2年度）	83.8% （令和3年度）	88.8% （令和4年度）	増加傾向
	小学生	97.8% （令和元年度）	94.3% （令和3年度）	97.3% （令和4年度）	95.7% （令和5年度）	
	中学生	95.7% （令和元年度）	91.9% （令和3年度）	95.5% （令和4年度）	96.1% （令和5年度）	

②高齢者の健康づくり

■今年度の取り組み

○フレイルに関する知識の普及と介護予防の推進

- ・生活習慣病（糖尿病、高血圧等）と関連する認知症、骨折等の予防のために、長寿健診（後期高齢者健康診査）の結果、生活習慣病の未治療者等を対象とした生活習慣病重症化予防及びフレイル予防に対する個別支援を実施した。
- ・また、医療機関や健康まちづくり推進連絡会、地域の関係団体等と連携し、生活習慣病に関する健康課題の共有、フレイル予防に関する知識の普及と取り組みを推進した。

■実績

○生活習慣病の重症化予防の個別支援

内容	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (12月末現在)
生活習慣病の重症化予防 (個別保健指導)	対象者数	57人	77人	47人
	実施者数	41人	50人	35人

○地域におけるフレイル予防の啓発や取り組みの推進

(高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組みとして、高齢者支援課・健康推進課で実施)

内容	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (12月末現在)
医療専門職によるフレイルの早期発見・早期対応 (集団健康教育・健康相談)	実施圏域数	2圏域	3圏域	6圏域
	実施回数	43回	27回	15回
	実人数	346人	223人	140人
	延べ人数	533人	283人	216人

○健康まちづくり推進連絡会による健康教育

内容	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (12月末現在)
フレイル予防 (教室・体操等)	回数	90回	143回	12回
	人数	845人	2,650人	293人

■課題及び次年度の方向性

高齢化と震災後の現状を踏まえた上で、特に後期高齢者医療制度に移行する年齢層では、生活習慣病重症化予防に加え、認知症や骨折等といったフレイル予防の両方の視点に重点をおき、さらに関係機関と連携し、地区活動の取り組みを進める。

■ 目標項目

目標項目	初期値	令和4年度 (実績値)	令和5年度 (実績値)	令和6年度 (実績値)	目標値
介護保険サービス利用者の増加の抑制 (要介護認定率の割合)	18.3% (令和元年度)	17.8% (令和3年度)	17.9% (令和4年度)	17.5% (令和5年度)	現状維持

③こころの健康づくり

■今年度の取り組み

○こころの健康づくりに関する普及啓発の推進及び相談支援の充実

- ・心理士、助産師によるこころの健康づくり教室の実施により、児童・生徒が、自殺予防に向けた困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等に適切な対処の仕方を身につけられるよう啓発した。
- ・相談窓口一覧をホームページや関係機関等（市内医療機関、薬局、公共機関、商工会議所他）に周知した。
- ・七尾市自殺対策計画第3次（計画期間：令和6年度～令和11年度）と整合性を図り、取り組みを推進した。

■実績

○若年層のこころの健康づくり事業（思春期保健事業を含む）

年度	令和5年度	令和6年度
	2校 145人	6校 849人
実施 状況	① 東湊小学校 11月7日 (保護者100人)	① 田鶴浜小学校 7月16日 (4～6年及び保護者82人)
	② 天神山小学校 11月14日 (6年生及び保護者45人)	② 天神山小学校 7月18日 (6年生38人)
		③ 中島小学校 11月1日 (5・6年及び保護者103人)
		④ 能登島小学校 11月1日 (6年及び保護者22人)
		⑤ 七尾中学校 9月12日、17日 11月22日 (全学年434人)
		⑥ 能登香島中学校 12月20日 (全学年170人)

○相談支援のためのゲートキーパー研修

実施日	対象	参加人数
R6. 9. 28	グループホームひかり	8人
R6. 12. 13	七尾市職員	20人

※ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる身近な人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のことをいう。

○こころの健康相談実績

	令和4年度		令和5年度		令和6年度 (R6.12月末現在)	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
電話	11 (6)	41	14 (9)	122	12 (8)	79
メール	0 (0)	0	0 (0)	0	0 (0)	0
面接	3 (0)	17	10 (7)	18	4 (2)	7
訪問	3 (2)	7	4 (4)	5	5 (5)	8
合計	17(8)	65	28(20)	145	21(15)	94

※ () カッコ内：実人数のうち新規人数

■目標項目（評価）

目標項目（評価）	初期値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
自殺者数の減少 (自殺による死亡率： 10万対) ※5年移動平均を算出	19.7 (平成28年)	17.6 (平成30年)	15.9 (令和元年)	13.8 (令和2年)	減少傾向
睡眠による休養を十分 にとれていない者の割 合の減少	22.9% (令和元年度)	22.7% (令和3年度)	23.3% (令和4年度)	24.7% (令和5年度)	21%以下

■課題及び次年度の方向性

- ・小中学校での教室の実施が再開できており、今年度は6校で開催することができた。今後も継続して実施していく。
- ・今後も、被災者向けの相談先を含めた冊子や相談窓口一覧の配布、広報などにて、広く周知する。また、庁内連携を密にして、被災者を含めた相談者に即時対応できるように支援を継続する。

II 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

①循環器疾患の予防

■今年度の取り組み

- 循環器疾患の予防に関する正しい知識の普及啓発
 - ・健康まちづくり推進連絡会と協力し、地区での生活習慣病予防教室を実施した。
 - ・広報9月号において、災害から自分の健康を守ろうという特集ページを掲載した。
- 循環器疾患の重症化予防のための取り組み
 - ・メタボ該当者は減少傾向にあり、引き続き働き盛りの若年層（40～60歳代）の保健指導を優先した。メタボ該当者の体重増加の背景は、個人により違いはあるが、欠食や間食、夜の飲食等、食の課題がある。自分の健診結果を理解し、問題意識を持ってもらい、食生活改善に向けた継続支援が重要である。
 - ・高血圧は、脳心血管病の発症及び重症化する最大の原因疾患であるため、Ⅱ度高血圧未治療者の保健指導を優先し、家庭血圧測定の結果も踏まえながら必要時、治療につなげた。肥満をベースにもつ高血圧については、内臓脂肪の蓄積（メタボ）の改善に向けた保健指導を実施した。
- 健診受診率向上の推進
 - ・これまでに把握している高血糖をはじめとした重症化予防の対象者を加えて、前年度から継続的に行っているハガキや電話勧奨を行い、健診の継続受診を促した。
 - ・医師会や医療機関へ協力を依頼し、治療中の人に対しての受診勧奨を継続した。

■実績（特定健康診査後の保健指導）

○メタボ該当者数と割合

	令和5年度			令和6年度（12月末現在）		
	人数	男性	女性	人数	男性	女性
特定健診受診者数	2,748人	1,136人	1,612人	2,223人	927人	1,296人
メタボ該当者数	680人	445人	235人	531人	347人	184人
メタボ該当者割合	24.7%	39.2%	14.6%	23.9%	37.4%	14.2%
(参考)石川県	22.7%	36.2%	13.3%	-	-	-

※特定健康診査の対象者は、七尾市の国民健康保険に加入している40～74歳の方である。

※メタボ該当者（メタボリックシンドローム該当者）とは、腹囲に加え、脂質異常、血圧高値、高血糖のうち2つ以上が該当する方である。

○メタボ該当者の年代別指導状況

令和6年度（12月末現在）				
	メタボ該当者数	指導対象者数	指導者数	指導率
40歳代	16人	8人	1人	12.5%
50歳代	45人	27人	15人	55.6%
60歳代	198人	61人	33人	54.1%
70～74歳	272人	90人	46人	51.1%
合計	531人	186人	95人	51.1%

○Ⅱ度高血圧以上で未治療者の指導・受診状況（令和6年度）（令和6年12月末現在）

	対象者数	指導者数	指導率	医療機関受診	
				人数	割合
Ⅱ度高血圧 (160/100)以上	85人	48人	56.5%	21人	24.7%
Ⅲ度高血圧 (180/110)以上	14人	13人	92.9%	2人	14.3%
合計	99人	61人	61.6%	23人	23.2%

○特定健康診査受診率の推移

年度	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (12月末現在中間値)
対象者数	8,270人	7,740人	7,225人	7,254人
受診者数	3,089人	2,950人	2,748人	2,223人
受診率	37.4%	38.1%	38.0%	30.6%

※個別健診：6月～11月、26医療機関

※集団健診：6月～12月、8施設31日間

○受診勧奨状況

※令和6年12月末現在

取り組み内容	方法	人数	うち受診者
夜間電話勧奨(国保連合会未受診者対策事業)	電話	867	288
ダイレクトメールでの受診勧奨	圧着ハガキ	4,092	309
診療における検査データの活用(受療状況調査)	封書	721	集計中
事業主健診データ提供	封書	18事業所	集計中
未受診者訪問	訪問等	83	47
合計		5,680	597

【啓発活動】

- ・医師会への協力依頼：医師からの受診勧奨を依頼。
- ・健康まちづくり推進員活動による受診勧奨。(受診勧奨用チラシの投函やポスターの掲示、地区での教室等での受診勧奨)
- ・国保保険者証発送と同時に、健診受診勧奨チラシを同封。
- ・広報5月号から11月号まで日程表を掲載、9月号は特集ページを掲載。

【課題及び次年度の方向性】

- ・メタボ該当者は減少傾向にあるが、目標値を達成していない。標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）からアウトカム評価が導入されたことを受け、さらに取り組みを強化していく必要がある。
- ・Ⅱ度高血圧以上の未治療者は、地震の影響により対象者が増加しているが受診に結び付いていない状況がある。服薬の必要性について住民が理解できるよう保健指導の質を高めることが求められている。
- ・地震により健診受診者が減少する中でも、夜間電話勧奨では3割、訪問等の勧奨では5割以上が健診受診に繋がっているため、今後も継続的に受診勧奨を行っていきたい。

■目標項目（評価）

目標項目（評価）		初期値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
高血圧の改善 (140/90mmHg以上の人の割合)		24.7% (令和元年度)	30.7% (令和3年度)	28.4% (令和4年度)	28.3% (令和5年度)	22%以下
メタボリック シンドロームの該当 者及び予備 群の減少	予備群 の割合	10.5% (令和元年度)	11.1% (令和3年度)	10.7% (令和4年度)	10.9% (令和5年度)	10.2%以下 (令和6年度)
	該当者 の割合	22.7% (令和元年度)	25.8% (令和3年度)	24.6% (令和4年度)	24.7% (令和5年度)	23.6%以下 (令和6年度)
特定健診受診率		42.6% (令和元年度)	37.4% (令和3年度)	38.1% (令和4年度)	38.0% (令和5年度)	46.5% (令和6年度)
特定保健指導実施率		75.5% (令和元年度)	84.3% (令和3年度)	70.4% (令和4年度)	54.8% (令和5年度)	74.5% (令和6年度)

②糖尿病の予防

■今年度の取り組み

○糖尿病の予防に関する正しい知識の普及啓発

- ・健康まちづくり推進員等と協力し、地区における生活習慣病予防教室を実施した。

○糖尿病重症化予防のための取り組みの推進

- ・糖尿病が重症化するリスクが高い未治療者、治療中断者を治療に結びつけるとともに、服薬治療につながることで食事や運動での改善をしなくなる方もおり、糖尿病治療における食生活や運動の重要性等について、保健指導を実施した。また、糖尿病治療継続者の割合は増加しているが、コントロール不良者の割合も増加しているため、必要時医療機関と連携し、虚血性心疾患、脳血管疾患及び腎不全による人工透析への移行を防止する支援を継続した。
- ・また、高血圧同様、背景に肥満がある方もおり、メタボ改善に向けての支援を継続した。

■実績

○糖尿病重症化予防のための取り組み

・糖尿病有病者(HbA1c6.5%以上、糖尿病未治療者) (令和6年12月末現在)

	対象者	指導者数	指導率	医療機関受診	
				人数	割合
6.5～6.9%	71人	20人	28.2%	50人	71.8%
7.0～7.9%	11人	10人	90.1%	8人	72.7%
8%以上	5人	1人	20.0%	3人	60.0%
合計	87人	30人	34.5%	61人	70.1%

※HbA1cは、採血時から過去1～2か月間の平均血糖値を反映し、糖尿病の指標に用いられる。特定健診では、HbA1c6.5%以上は「受診勧奨判定値」となる。

・糖尿病治療中でコントロール不良者 (令和6年12月末現在)

	対象者	指導者数	指導率
HbA1c7～7.9%	72人	38人	52.8%
HbA1c8%以上	20人	13人	65.0%
合計	92人	51人	55.4%

【課題及び次年度の方向性】

- 今年度は、優先する保健指導対象者を見直し、地区担当保健師が継続的に支援する体制を整えた。未治療者への指導率、医療機関受診率が高くなっているがコントロール不良者への指導率は横ばいとなっている。今後も優先対象者を設定し、医療機関と連携しながら、コントロール不良者への保健指導を行っていく必要がある。

■目標項目(評価)

目標項目(評価)	初期値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
糖尿病有病者の増加の抑制(HbA1c6.5%以上の人の割合の減少)	11.3% (令和元年度)	11.1% (令和3年度)	12.8% (令和4年度)	13.3% (令和5年度)	9.6%以下
糖尿病治療継続者の割合の増加(HbA1c6.5%以上で治療中の人の割合)	65.3% (令和元年度)	71.6% (令和3年度)	67.3% (令和4年度)	72.0% (令和5年度)	70%以上
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 (HbA1c8.4%以上の人の割合)	0.8% (令和元年度)	0.8% (令和3年度)	1.0% (令和4年度)	0.7% (令和5年度)	減少傾向

③がんの予防

■今年度の取り組み

集団検診は6～12月（31会場）、個別検診（子宮頸がん検診）は6～11月（5医療機関）に実施した。

【個別へのアプローチ】

- ① 個別ハガキまたは封書による勧奨（9月）
 - ・無料クーポン対象者：乳がん（41歳）、子宮頸がん（21歳）
 - ・不定期受診者：大腸がん、乳がん、子宮頸がん
- ②特定健診保健指導時に受診勧奨（通年）
- ③精密検査未受診者への個別再通知（9月、12月、2月、計3回）

【関係機関の協力】

- ①かかりつけ医を通じたがん検診の周知及び勧奨（6～11月）
- ②医療機関からの大腸がん検診の受診勧奨、検便容器の配布（6～11月）
- ③事業主、職域へのがん検診の周知及び勧奨（5月）
- ④各地区まちづくり推進員活動による受診勧奨（4～12月）

【啓発活動】

- ①乳幼児健診における女性がんのPR（通年）
- ②広報やホームページなどによる周知や地区活動による健康教育（通年）

■実績

○受診者数及び受診率（全年齢）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度 (12月末現在)
胃がん検診 (40歳以上)	対象者	19,512人	19,351人	19,091人
	受診者	1,949人	1,825人	1,697人
	受診率	10.0%	9.4%	8.9%
肺がん検診 (40歳以上)	対象者	19,512人	19,351人	19,091人
	受診者	2,731人	2,679人	2,472人
	受診率	14.0%	13.8%	12.9%
大腸がん検診 (40歳以上)	対象者	19,512人	19,351人	19,091人
	受診者	2,900人	2,861人	2,683人
	受診率	14.9%	14.8%	14.1%
乳がん検診 (40歳以上)	対象者	11,466人	11,388人	11,286人
	受診者	922人	990人	836人
	受診率	17.7%	16.8%	16.2%
子宮頸がん検診 (20歳以上)	対象者	12,017人	12,055人	11,902人
	受診者	854人	883人	811人
	受診率	15.3%	14.4%	14.2%

※検診受診間隔 年1回 : 胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診
 2年に1回 : 子宮頸がん検診、乳がん検診

■課題及び次年度の方向性

- 対象者自体も減少しているが、受診者数が減少している（受診率でみても減少傾向）。
 - ・がん検診を受診しない理由として、60代では医療機関受診中との方が3割、20～30代では必要性を感じないや特に理由がないという方が3割だった。医療機関受診の有無に関わらず、検診受診の必要性について理解してもらえよう健康教育や周知をさらに実施していく必要がある。

■目標項目（評価）

がん検診受診率（40～69歳、子宮頸がんは20～69歳）

目標項目（評価）		初期値 (令和元年度)	令和4年度	令和5年度	目標値
がん検診 受診率の 向上	胃がん	12.7%	14.1%	13.5%	20%以上
	肺がん	17.5%	17.8%	17.8%	20%以上
	大腸がん	18.4%	20.7%	21.0%	20%以上
	乳がん	35.3%	43.0%	40.3%	40%以上
	子宮頸がん	26.1%	35.7%	34.8%	30%以上

Ⅲ 生涯を通じて健康であるための基礎となる生活習慣づくり

①地域等と連携した生活習慣病予防の取り組みの推進

① 七尾市健康まちづくり推進連絡会と連携した事業の実施

■今年度の取り組み

七尾市の健康課題（肥満や糖尿病、高血圧等）の解決に向けて、生活習慣病の発症予防と重症化予防に重点をおき、子どもから高齢者までのライフステージに応じた健康づくり活動として、地区における生活習慣病予防教室の開催や体操及びウォーキング等の推進を図った。

■実績

事業内容	令和5年度		令和6年度 (12月末現在)	
	回数	人数	回数	人数
生活習慣病予防の取り組み	318回	5,799人	18回	388人

■課題及び次年度の方向性

地震による活動場所の制限等もあり、今年度は、開催回数や参加者は少なかった。現在、徐々に地区活動が再開できつつあり、今後も地区特性に合わせた生活習慣病予防の取り組みを推進していく。

②企業や地域等と連携した事業の実施

■今年度の取り組み

生活習慣病の予防と健康に関する正しい知識の普及を図るために、企業や地域等と連携し、地域全体で支える健康づくりと個人の健康づくりを支援した。地域の企業（飲食店等）と、健康課題について共有し、健康づくりに関する普及啓発等の取り組み（減塩等）を推進した。

■実績（令和6年12月末現在）

※事業主出前健康講座、市政講座分を掲載

	区分	団体	人数	内容
令和6年度	企業	市内飲食店	3店舗	減塩の取組状況の調査、減塩食品の紹介・活用依頼
	地域	光徳寺仏教婦人会	10人	生活習慣病予防
令和5年度	企業	スーパーマーケットどんたく、JA能登わかば本店	7店舗	減塩商品の取扱状況の調査
	地域	和倉地区地域づくり協議会	10人	生活習慣病予防
		グループホームひかり (震災のため中止)	—	一人ひとりの健康づくりの実践 「こころの健康」

■課題及び次年度の方向性

健康づくりに関する普及啓発等について、引き続き地域の企業に協力を依頼し、スーパーでの減塩コーナー設置や飲食店での減塩調味料の卓上への設置等、減塩の環境整備に向けて取り組み内容の充実を図りたい。

③学校や保育園などと連携した事業の実施

■今年度の取り組み

学校や保育園との会議等を活用し、健康に関するデータの情報提供等を行い、心の健康づくりや生活習慣病予防に関する取り組みを推進した。また、学校保健委員会に参画し、将来の体づくりの取り組みを考えるために市の健康課題を共有した。

■実績

学校

- ・校長会、養護教諭部会に七尾市健康づくり指標のデータ活用の依頼。
- ・衛生推進連絡協議会（教頭会）に対するメンタルヘルス（健康教育）の実施。
- ・こころの健康づくり、生活習慣病予防に関する児童、生徒への健康教育の実施。

こころの健康づくり実施校：6校

（天神山小、田鶴浜小、中島小、能登島小、七尾中、能登香島中）

生活習慣病予防教室実施校：3校

（山王小、東湊小、七尾中）

保育園・こども園等

- ・健診後、食事指導が必要な児の保護者に園と協力して個別指導の実施。
- ・4歳児すこやか相談事業などにて、児の生活リズム等に関するデータの情報提供の実施。

■課題及び次年度の方向性

引き続き、関係機関と連携し、学童・思春期などから健康に関心を持ち、生活習慣病予防やこころの健康づくりの取り組みができるよう支援する。

参考 七尾市健康増進計画（第2次）改定版の目標値と実績値について

I. 社会生活を営むために必要な心身の機能の維持・向上

※R6年度のデータ欄を更新(太字)、※目標値の変更(下線4か所):七尾市保健事業実施計画(データヘルス計画)第3期、特定健康診査等実施計画第4期の変更に伴うもの。

	目標（指標の目安）	データの対象		初期値【R1】	R3年度 (括弧：データ年度)	R4年度 (括弧：データ年度)	R5年度 (括弧：データ年度)	R6年度 (括弧：データ年度)	目標値【R7】	データソース	目標値の根拠
1	低出生体重児の割合の減少	低出生体重児の割合		11.2% (H30)	8.7% (R1)	11.3% (R2)	6.9% (R3)	3.8% (R4)	減少傾向	人口動態(石川県衛生統計年報)	健康日本21(第二次)
2	3歳児の肥満割合の減少	3歳児の肥満の割合		3.5% (H30)	5.1% (R1)	4.9% (R2)	3.2% (R3)	4.6% (R4)	減少傾向	石川県母子保健の主要指標	市独自に設定
3	肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学生5年生の軽度・中等度・高度肥満傾向児の割合	男子	9.06%	17.76% (R2)	16.75% (R3)	10.56% (R4)	18.99% (R5)	減少傾向	七尾市学校保健要覧	いしかわ健康フロンティア戦略2018、健康日本21(第二次)
4			女子	10.68%	7.47% (R2)	11.89% (R3)	10.30% (R4)	12.82% (R5)			
5	次世代の健康づくり	3歳児		99.4% (H30)	99.3% (R1)	99.6% (R2)	83.8% (R3)	88.8% (R4)	増加傾向	石川県母子保健の主要指標	第3次食育推進基本計画、いしかわ健康フロンティア戦略2018
6	毎日、朝食をとる者の割合の増加	小学生		97.8%	コロナのため全国的に実施なし(R2)	94.3% (R3)	97.3% (R4)	95.7% (R5)		全国学力・学習状況調査	
7		中学生		95.7%	コロナのため全国的に実施なし(R2)	91.9% (R3)	95.5% (R4)	96.1% (R5)			
8	地場産物に触れる機会の増加			26.1%	26.5% (R2) ※品目ベース	43.8% (R3) ※金額ベースに変更	44.0% (R4) ※金額ベース	44.4% (R5) ※金額ベース	増加傾向	学校給食への地場産物の使用割合	第3次食育推進基本計画
9	保育園・認定こども園における体験型食育活動の推進			市内全園	全園	全園	全園	全園	継続した推進	保育所・認定こども園における諸侯育に関する調査票(石川県少子化対策監室)	第3次いしかわ食育推進計画
10	高齢者の健康づくり	介護保険サービス利用者の増加の抑制	要介護認定率	18.3%	17.9 (R2)	17.8 (R3)	17.9 (R4)	17.5 (R5)	現状維持	介護保険事業状況報告	いしかわ健康フロンティア戦略2018
11	こころの健康づくり	自殺者の減少	自殺による死亡率の減少(人口10万対)	19.7 (H28)	19.9 (H29)	17.6 (H30)	15.9 (R1)	13.8 (R2)	減少傾向	人口動態(石川県衛生統計年報)	七尾市自殺対策計画
12		睡眠による休養を十分にとれない人の割合の減少	40~74歳の人の割合	22.9%	23.1% (R2)	22.7% (R3)	23.3% (R4)	24.7% (R5)	21%以下	特定健診	健康日本21(第二次)

II. 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

	目標（指標の目安）	データの対象		初期値【R1】	R3年度	R4年度	R5年度 (括弧：データ年度)	R6年度 (括弧：データ年度)	目標値【R7】	データソース	目標値の根拠
13	脳血管疾患の死者数の減少	75歳未満の脳血管疾患死亡数		14.4人 (H28)	13.0人 (H29)	10.3人 (H29-R1)	13.0人 (H30-R2)	14.7人 (R1-R3)	減少傾向	人口動態(石川県衛生統計年報)	健康日本21(第二次)
14	虚血性心疾患の死者数の減少	75歳未満の虚血性心疾患の死亡数		7.7人 (H28)	8.3人 (H29) H28-H30	6.0人 (H29-R1)	7.7人 (H30-R2)	10.7人 (R1-R3)	減少傾向		
15	高血圧の改善	高血圧症の人の割合 (I度高血圧140/90mmHg以上)		24.7%	29.4% (R2)	30.7% (R3)	28.4% (R4)	28.3% (R5)	22%以下	特定健診	七尾市保健事業実施計画(データヘルス計画)(第2期)
16	循環器疾患の予防	脂質異常症(高LDLコレステロール血症)の減少	男性	6.1%	5.8% (R2)	5.9% (R3)	5.6% (R4)	5.4% (R5)	5.5%以下		健康日本21(第二次)
17			女性	8.6%	8.1% (R2)	7.6% (R3)	7.8% (R4)	8.9% (R5)	7.8%以下		健康日本21(第二次)
18	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	予備群の割合		10.5%	9.6% (R2)	11.1% (R3)	10.7% (R4)	10.9% (R5)	10.2%以下		七尾市保健事業実施計画(データヘルス計画)第3期
19		該当者の割合		22.7%	26.3% (R2)	25.8% (R3)	24.6% (R4)	24.7% (R5)	23.6%以下		

	目標（指標の目安）	データの対象	初期値【R1】	R3年度 (括弧：データ年度)	R4年度 (括弧：データ年度)	R5年度 (括弧：データ年度)	R6年度 (括弧：データ年度)	目標値【R7】	データソース	目標値の根拠	
20	循環器疾患の予防	特定健診受診率	特定健診受診率	42.6%	35.5% (R2)	37.4% (R3)	38.1% (R4)	38.0% (R5)	特定健診	七尾市特定健康診査等実施計画第4期	
21		特定保健指導実施率	特定保健指導実施率	75.5%	86.4% (R2)	84.3% (R3)	70.4% (R4)	54.8% (R5)			74.5%
22	糖尿病の予防	糖尿病有病者の増加の抑制	HbA1c 6.5%以上の人の割合	11.3%	12.2%	11.1% (R3)	12.8% (R4)	13.3% (R5)	9.6%以下	七尾市保健事業実施計画(データヘルス計画)(第2期)	
23		糖尿病治療継続者の割合の増加	HbA1c 6.5%以上で治療中の人の割合	65.3%	71.1%	71.6% (R3)	67.3% (R4)	72.0% (R5)	70%以上	特定健診	健康日本21(第二次)
24		血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少	HbA1c 8.4%以上の人の割合	0.8%	0.8%	0.8% (R3)	1.0% (R4)	0.7% (R5)	減少傾向		健康日本21(第二次)
25		糖尿病性腎症による年間新規透析導入者数の減少	糖尿病性腎症による新規透析導入者数	7人	10人 (R2)	4人 (R3)	7人 (R4)	11人 (R5)	減少傾向	更生医療申請	健康日本21(第二次)
26	がんの予防	がんによる死亡者数の減少	75歳未満のがん死亡者数(3年平均)	87.9人 (H27-H29)	90.3人 (H28-H30)	79.0人 (H29-R1)	74.0人 (H30-R2)	74.0人 (R1-R3)	減少傾向	人口動態(石川県衛生統計年報)	健康日本21(第二次)
27		がん検診の受診率の向上	胃がん(40歳~69歳)	12.7% (1,082人)	9.6% (R2)	11.4% (R3)	14.1% (R4)	13.5% (R5)	20%以上	がん検診受診率集計 ※令和2年度から県内統一の石川県方式による対象者数の算出が不可となり、各年度の受診者数を掲載。	いしかわ健康フロンティア戦略2018、健康日本21(第二次)
28			肺がん(40歳~69歳)	17.5% (1,488人)	13.5% (R2)	14.6% (R3)	17.8% (R4)	17.8% (R5)	20%以上		
29			大腸がん(40歳~69歳)	18.4% (1,565人)	16.1% (R2)	17.0% (R3)	20.7% (R4)	21.0% (R5)	20%以上		
30			乳がん(40歳~69歳)	35.3% (905人)	30.9% (R2)	30.3% (R3)	43.0% (R4)	40.3% (R5)	40%以上		
31	子宮頸がん(20歳~69歳)	26.1% (815人)	25.3% (R2)	25.9% (R3)	35.7% (R4)	34.8% (R5)	30%以上				

Ⅲ. 生涯を通じて健康であるための基礎となる生活習慣づくり

	目標（指標の目安）	データの対象	初期値【R1】	R3年度	R4年度	R5年度 (括弧：データ年度)	R6年度 (括弧：データ年度)	目標値【R7】	データソース	目標値の根拠	
32	栄養・食生活	適正体重を維持している人の増加(肥満の減少)	40~60歳代男性の肥満(BMI25以上)の人の割合	37.0%	41.1% (R2)	42.5% (R3)	42.5% (R4)	40.9% (R5)	特定健診	健康日本21(第二次)	
33		40~60歳代女性の肥満(BMI25以上)の人の割合	27.4%	27.1% (R2)	28.0% (R3)	25.4% (R4)	24.7% (R5)	24%以下			
34	身体活動・運動	身体活動及び運動習慣者の割合の増加	40~74歳の運動習慣がある人の割合	53.1%	48.5% (R2)	54.3% (R3)	52.5% (R4)	59.2% (R5)	増加傾向	特定健診	健康日本21(第二次)
35	歯・口腔の健康	妊婦歯科健診の受診率の増加	妊婦歯科健診の受診率	37.7% (H30)	33.8% (R1)	39.4% (R2)	36.9% (R3)	43.5% (R4)	増加傾向	石川県母子保健の主要指標	市独自に設定
36		むし歯がない児の割合の増加	3歳児	77.3% (H30)	83.2% (R1)	89.8% (R2)	81.8% (R3)	87.3% (R4)	85%以上		健やか親子21(第二次)
37		子どもが磨いた後、仕上げ磨きをしている保護者の割合の増加	1歳6か月児	68.1% (H30)	72.7% (R1)	71.0% (R2)	69.5% (R3)	71.4% (R4)	増加傾向	健やか親子21(第二次)	健やか親子21(第二次)
38		学齢期のむし歯未治療者の割合の減少	小学生	28.2%	24.3% (R2)	21.54% (R3)	22.02% (R4)	26.77% (R5)	減少傾向	七尾市学校保健要覧	いしかわ健康フロンティア戦略2018
39			中学生	23.9%	18.9% (R2)	23.06% (R3)	18.27% (R4)	17.23% (R5)	減少傾向		
40	歯科健診の受診率の増加	40歳、50歳、60歳、70歳	1.8%	2.4% (R2)	3.2% (R3)	3.3% (R4)	3.5% (R5)	3.6%	歯科健診の受診率	市独自に設定	
41	飲酒	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	男性 1日2合以上(40~74歳)	13.4%	13.5% (R2)	11.6% (R3)	12.7% (R4)	13.4% (R5)	13.0%以下	特定健診	健康日本21(第二次)
42		女性 1日1合以上(40~74歳)	6.3%	7.4% (R2)	6.5% (R3)	7.0% (R4)	8.1% (R5)	5.7%以下			
43	喫煙	成人の喫煙率の減少	男性(40~74歳)	24.1%	21.4% (R2)	20.8% (R3)	22.1% (R4)	22.7% (R5)	21.7%以下	特定健診	健康日本21(第二次)
44		女性(40~74歳)	4.4%	4.5% (R2)	4.6% (R3)	4.3% (R4)	4.5% (R5)	4.1%以下	健康日本21(第二次)		

3. その他

(1) 震災後の保健活動について

■母子保健関係

○市外の避難者に対する乳幼児健診、乳児家庭全戸訪問等は、避難先市町で受診できるように対応している。

■健康増進関係

○避難所の避難者や仮設入居者等の健康状態の把握と支援を関係機関と連携し、行っている。(避難所の避難者への支援は9月で終了)

○がん検診・特定健診は、例年どおりの時期から開始できるよう、会場は市役所本庁等に変更し、がんの早期発見、生活習慣病予防の対策に取り組んだ。また、県内の市外避難者に対する「がん検診、特定健診」については、避難先市町で受診ができるように対応した。(健診期間：9月～11月)

○生活習慣病対策として、主に保険者の立場で糖尿病治療中や未治療者等に対して、医療機関や健診の受診勧奨を行い、生活習慣病の重症化予防に取り組んでいる。

○仮設住宅等の不慣れた生活環境による栄養バランスの是正を目的に管理栄養士や食生活改善推進員による栄養教室を開催している。(実績：10か所、10回)

また、仮設住宅の入居者(主に高齢者のみがいる世帯)を対象に県栄養士会の協力の下、11月～12月に栄養調査を実施した。

※奥能登豪雨に伴う2次避難者(輪島市)の健康管理や医療機関の受診などについても支援を行った。

■心の健康関係

○被災者向けの心の相談窓口の紹介や心の対処法等について、広報やLINE、ラジオなどでお知らせを行った。また、仮設集会所で開催される「カフェ」(地域支え合いセンター主催)において、健康教育・健康相談等を実施している。

七尾市健康福祉審議会 保健医療分科会事務局職員名簿

	所 属	職 名	氏 名
1	健康福祉部 健康推進課	課長	裕 久 子
2	〃 (母子保健グループ)	補佐兼G L	岩 本 瑞 世
3	〃 (健康推進グループ)	主幹兼G L	山 崎 まり子
4	〃 (母子保健グループ)	主幹	南 隆 子
5	〃 (母子保健グループ)	主幹	岡 峰 恵理子
6	〃 (健康推進グループ)	専門員	藤 沢 美 里
7	〃 (健康推進グループ)	専門員	津 田 順 子
8	〃 (健康推進グループ)	専門員	鍛 治 真沙代

(事務局)

〒926-0811

七尾市御祓町1番地 パトリア3階

七尾市健康福祉部健康推進課

TEL 53-3623

FAX 53-5990